

福島県産プレミアム光センサー桃

取扱品種一覧

早生（柔め）

中生（普通）

晩生（硬め）

■ 6月下旬～7月初旬

「はつひめ」福島県オリジナル品種

「あかつき」×「はつおとめ」を交配した新品種。肉質は緻密で滑らかであり果汁がたっぷり。

■ 7月初旬～中旬

「日川白鳳」

「白鳳」の枝変わり品種。果皮の全面に濃紅色の着色をし溶質で果汁が多いのが特徴。

■ 7月中旬

「暁星」福島県オリジナル品種

「あかつき」の枝変わりの早生品種。全面が濃紅色となり肉質は緻密で果汁が多くのが特徴。

■ 7月中旬～下旬

「ふくあかり」福島県オリジナル品種

「川中島白桃」×「モモ福島8号」を交配育成した新品種。甘みが強く食味は良好です。

■ 7月下旬～8月初旬

「あかつき」福島県オリジナル品種

福島県を代表するもっと有名な品種

「白桃」×「白鳳」を中生種。肉厚で果汁も多く、果肉も比較的柔らかめ。

■ 8月初旬～中旬

「まどか」福島県オリジナル品種

「あかつき」の自然実生した品種。肉質はやや硬く果汁が多く、甘みが強いのが特徴。

■ 8月中旬

「川中島白桃」

果肉は白く、種付近が紅く色づく。肉質は硬く、しっとりとした歯触りが特徴。

■ 8月下旬～9月初旬

「ゆうぞら」福島県オリジナル品種

「白桃」×「あかつき」を交配育成した品種。甘み強く微酸で品種の中でも最上の食味。

■ 9月～10月初旬まで

「各種白桃種」幸茜・金山・さくら・まるみ・CXなど

共通する特徴として、肉質が固く大玉傾向。日持ちも良好。

【桃の品種の特徴について】

6月下旬からスタートする福島の桃。沢山の品種リレーが続きますが、簡単に大きく分けると早生種の「白鳳種」と晩生種の「白桃種」に分類されます。この2つを交ぜたりしたのが「あかつき」などの中生種です。同じ桃でも品種で性質が随分と別れますが、白鳳でも白桃でも共通するのは、早熟期には硬く熟成すれば柔らかくなるということ。硬めが好みの方はお早めに、柔らかめの桃がお好みの方は常温で何日か保存してからお召し上がりください。